

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

# シリーズ景観72

「みんなで残したい松江の景観400選集」から  
景観審議会が特にお薦めする景観

## 佐陀川の風景

No. 58



佐太神社風ランドセル  
(がんちゃカニストラップ付)  
ランドセルの中には  
「夢」と「勇気」が詰まっている



佐陀川風  
マフラー

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、  
市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索

鹿島町ご当地キャラクター  
「さだがわん」

佐陀川は、宍道湖北東岸の浜佐田から島根半島を横切り、鹿島町恵曇で日本海へつながる人工の河川です。  
松江藩松平家七代藩主治郷（不昧）の時代に、松江藩の普請奉行吟味役（土木関係の諸業務を司る役職）だった清原太兵衛の主導によって開削され、沿岸の水害緩和や水上交通による地域経済産業の発展、新田開発にも大きく寄与しました。

写真は、鹿島町に架かる武代橋から見た佐陀川の風景です。

近くには県内初の公共マ

リーナ「鹿島マリーナ」があり、水陸合わせて252隻が収容可能。マリンスポーツや釣りを楽しむ人たちの拠点となっています。  
夏には、手作りいかだで佐陀川を下り海へ漕ぎ出すイベントが開催され、参加者はオールを漕ぎながら水上からの風景を眺め、自然を体感することができます。

鹿島町のご当地キャラクター「さだがわん」のデザインにも取り入れられ親しまれている佐陀川の風景は、守り継ぎたい松江の景観のひとつです。